

「ママと未来を守るミルクサポート事業」

NPO 法人スマイルリボン 代表 菅付加代子

【背景】

HTLV-1 ウイルスの感染者は国内で約 100 万人で、その中から ATL（成人 T 細胞性白血病）や希少難病 HAM（HTLV-1 関連脊髄症）を発症する人がいます。それを防ぐために母乳に含まれるウイルスを子供に感染させないように「母子感染予防対策」が施行されました。

国は、感染した母親に対し、生まれた赤ちゃんに母乳を与えずに粉ミルクで育てるように推奨しています。母子感染予防対策のおかげで子への感染を最小限に防ぐことができている。しかしながら母親には精神的な負担が大きく、悩みを相談できる体制作りが重要な課題でした。

【事業の内容と目的】 ママと未来を守るミルクサポート事業とは



2018 年 4 月に鹿児島市で「未来を守るミルク支給事業」としてスタートしました。HTLV-1 ウイルスに感染した母親に対し、粉ミルクを支給する事業です。

ミルクの受け渡しに保健師が対応することで、顔の見える関係の相談体制ができます。経済的負担を軽減するだけでなく、保健所(保健センター)との相談体制構築を目的としています。

鹿児島市の取り組みをモデルケースに！

【得られる効果・・近い効果】 ※鹿児島市の実績がある。

- ① 母子感染が分かったときに、母親が粉ミルクを選択しやすくなる。
- ② 保健所（保健センター）と繋がることで、キャリアである自分の相談の受け皿ができる。
- ③ 社会が支援するという意思表示になり、孤立しがちな母親の不安が軽減し、周囲の理解が得られやすくなる。
- ④ HTLV-1 感染予防について、配偶者や家族が母親だけの問題ではないことの気づきになる。
- ⑤ 相談窓口としての保健所(保健センター)の役割が明確になる。

【得られる効果・・遠い効果】

この事業が定着すれば、行政や一般市民に HTLV-1 ゼロを目標に「知ることからはじめよう！」という啓発の 1 歩になります。

【チラシを使用した展開】

NPO 法人スマイルリボン・キャリアママの会「カランコエかごしま」の発案でチラシを作製しました。この事業拡大のためにご利用ください。全国の地方自治体で採用されますように願っています。

◎地方議員に配布する

⇒ 議会に取り上げて事業を実現してもらう。

◎保健所に配布する

⇒ 事業の有効性を理解してもらい、相談体制を整えてもらう。

ママと未来を守る
ミルクサポート事業

～HTLV-1をゼロに～

HTLV-1ウイルスの感染者は国内で約100万人で、その中からATL(成人T細胞白血病)や希少難病HAM(HTLV-1関連神経症)を発症する人がいます。それを防ぐために母乳に含まれるウイルスを子供に感染させないように「母子感染予防対策」が実行されました。国は、感染した母親に対し、生まれた赤ちゃんに母乳を与えずに粉ミルクで育てるように推奨しています。母子感染予防対策のおかげで子供の感染を最小限に防ぐことができ、しかしながら母親には精神的な負担が大きく、悩みを相談できる体制作りが重要な課題でした。

鹿児島市の取り組みをモデルケースに！

ママと未来を守る
【ミルクサポート事業】とは
2018年4月に鹿児島市で「未来を守るミルク支給事業」としてスタートしました。HTLV-1ウイルスに感染した母親に対し、粉ミルクを支給する事業です。

ミルクの受け渡しに保健所が対応することで、親の見える関係の相談体制がきます。経済的負担を軽減するだけではなく、保健所(保健センター)との相談体制構築を目的としたサポート事業です。

- 1 母子感染が分かったときに、母親が粉ミルクを選択しやすくなる。
- 2 保健所(保健センター)と繋がることで、キャリアである自分の相談の受け皿ができる。
- 3 社会が支援するという意思表示になり、孤立しがちな母親の不安が軽減し、周囲の理解が得られやすくなる。
- 4 HTLV-1感染予防について、隔離産物検査が母親感染の問題ではないことのアプローチになる。
- 5 相談窓口としての保健所(保健センター)の役割が明確になる。

この事業が定着すれば、行政や一般市民にHTLV-1ゼロを目標に「知ることから始めよう！」という啓発の1歩になります。

このチラシはNPO法人スマイルリボン・キャリアママの会「カランコエかごしま」の発案で作製しました。この事業拡大のためにご利用ください。全国の地方自治体で採用されますように願っています。

【連絡先】NPO法人 スマイルリボン
TEL:099-800-3112 / FAX:099-218-9871
メール: nakukaki@pc.minc.ne.jp ホームページ: <http://smile-ribbon.org/>



他人事ではない? マンガで知る HTLV-1

えっ!? 感染している可能性がある!?

リョウコ(36) カツン(34)

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

○鹿児島市のミルク支給事業

対象 (1)乳児 (2)多胎児

(3)母が HTLV-1(ヒト T 細胞白血病ウィルス 1 型)抗体陽性の乳児

※29 年度の HTLV-1 申請者 5 名から 30 年度は 49 名に増加

支給期間 原則、出生月から 12 か月間

支給内容:乳児 1 人につき 1 か月当たり

(1)(2)共通 1 缶 300 グラム入り缶 2 缶相当

(3)のみ

・市町村民税非課税世帯…1 缶 300 グラム入り缶 12 缶相当

・その他の世帯…1 缶 300 グラム入り缶 6 缶相当

必要書類

(1)～(3)共通 母子健康手帳と印鑑(朱肉を使うもの)

(3)のみ HTLV-1 抗体検査の結果がわかるもの(写し可)

(注)医療機関名が記載されたもの、確定検査後の検査結果報告書など

※管轄内の各保健センター、保健福祉課での申請、受け取りとなります。そのほか、乳児の授乳に関する不安や悩み、HTLV-1 抗体陽性に関することなどのご相談もできますので、管轄内の各保健センター・保健福祉課にご相談ください

かごしま市からのお知らせ

平成30年度から開始！ 未来を守るミルク支給事業

HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウィルス1型)抗体陽性の母親から出生した乳児に対し、母乳栄養による感染を予防する目的でミルクを支給します。

◇支給対象: HTLV-1 抗体陽性の母親から出生した鹿児島市に居住する乳児
※申請者はその乳児の保護者です
※所得制限等はありません

◇支給期間: 原則、出生月から12か月
※入院中の乳児などは、支給開始月の延長も可能です

◇支給内容: 乳児1人につき1か月当たり
①市町村民税非課税世帯 → 1缶300グラム入り缶 12缶相当
②その他の世帯 → 1缶300グラム入り缶 6缶相当
※申請時に、数種類から選択できます

◇申請書類: ①母子栄養食品支給申請書(申請窓口にもあります)
②印鑑(朱肉を使うもの)、③母子健康手帳
④HTLV-1抗体検査の結果がわかるもの
※医療機関名が記載されたもの、確定検査後の検査結果報告書など

◇申請・問い合わせ:
管轄内の各保健センター、各保健福祉課(センター)

 鹿児島市役所 母子保健課(099-216-1485)

北部保健センター(244-5593)	吉田保健福祉課(294-1215)
東部保健センター(216-1310)	板橋保健福祉課(293-2350)
西部保健センター(252-8522)	華山保健福祉課(298-2114)
中央保健センター(258-2364)	松元保健福祉課(278-5417)
南部保健センター(268-2315)	喜入地区保健センター(345-3434)